

一般社団法人 日本鉱物科学会 一般普及講演

日本の国石・ひすい

2018年9月22日(土)

13:00～15:30(開場12:30)

ゆうキャンパス・ステーション(山形駅前)

※ 小白川キャンパスではありません。ご注意ください。

入場無料
要申込み
詳しくは裏面へ

【山形大学附属博物館にて、特別展示開催！】

9月11日(火)～9月21日(金)

山形大学附属博物館において、特別展示「日本の国石・ひすい」を開催します。

新潟県糸魚川市フォッサマグナミュージアムより貸し出された大型のひすい、緑、紫、青、白、黒のひすいが展示されます。開館日時については附属博物館のホームページにてご確認ください。

日本の国石・ひすい

日本鉱物科学会は社団法人化の記念事業の一環として、2016年の総会で「ひすい（ひすい輝石およびひすい輝石岩）」を国石として選定しました。知名度、美しさ、学術的重要性のほか、日本人との関わり、産地の継続性・持続性などの条件をクリアし、国のシンボルとして国石に選ばれたひすいは、どのようにして生まれ、どのようにして日本に根付いてきたのでしょうか。

プログラム

12:30 開場・受付

13:00 - 15:30 講演会（途中休憩をはさみます）

国石ひすいの基礎知識 宮島 宏（フォッサマグナミュージアム）

国石ひすいのサイエンス（第一部）辻森 樹（東北大学）

国石ひすいのサイエンス（第二部）辻森 樹（東北大学）

国石ひすいと日本人 宮島 宏（フォッサマグナミュージアム）

15:30 - 16:15 閉会后アトラクション

ひすいに触れてみよう、ひすいはどれかな？ひすいの重さ当てクイズ！ など

（参加者には素敵なプレゼントをご用意しております）

講師紹介



宮島 宏

糸魚川市フォッサマグナミュージアム上席学芸員

1957年東京都生まれ。信州大学理学部地質学科で丹沢山地の花崗岩質岩、東北大学大学院理学研究科博士課程で伊豆半島東部の火山岩を研究。都立養護学校と高校の教諭を経て、糸魚川市教育委員会に勤務し、フォッサマグナミュージアムの開設と運営に関わり、ジオパークという言葉を造語。2017年3月に定年退職し、現在は上席学芸員。糸魚川産の翡翠から糸魚川石などの新鉱物を発見し、新潟日報文化賞と日本鉱物学会櫻井賞を受賞。



辻森 樹

東北大学教授（東北アジア研究センター）

1972年石川県山中温泉生まれ。1999年金沢大学博士（理学）、地質学者。スタンフォード大学博士研究員、岡山大学助教・准教授などを歴任し、2015年より現職（理学研究科地学専攻を兼務）。世界の原生代・顕生代造山帯の広域変成岩類の研究を行い、過去のプレート境界岩から、固体地球の変動の歴史と地球内部のダイナミックな振る舞いの解読に挑戦している。日本地質学会柵山賞（第一号）、アメリカ鉱物学会フェロー、アメリカ地質学会フェローなど受賞。

申込方法

事前申込制、先着順です（定員50名）。参加費は無料です。申し込みはメールでのみ受け付けます。Mail: JAMS2018yamagata@gmail.com

※ 件名には「普及講演参加申し込み」、本文には「参加者全員の氏名、年齢、お住まいの市町村名」をお書き下さい



※ 参加の可否についてはお送りいただいたメールアドレス宛に返信をいたします

申込締切：9月14日（金）17時

日本鉱物科学会 2018 年会 一般普及講演

担当：加々島 慎一（山形大学理学部）

会場案内



JR 山形駅東口から徒歩1分

※専用の駐車場はありませんので、近隣の有料駐車場をご利用ください